

公益社団法人都市住宅学会・2018年度事業報告

(2018年4月1日より2019年3月31日まで)

1. 総会の開催

(本部)

2018年度通常総会を開催	5月28日
(東北支部)	
2018年度通常総会を開催	4月6日
(関東支部)	
2018年度通常総会を開催	4月18日
(中部支部)	
2018年度通常総会を開催	4月21日
(関西支部)	
2018年度通常総会を開催	4月21日
(中国・四国支部)	
2018年度通常総会を開催	4月21日
(九州支部)	
2018年度通常総会を開催	4月14日

2. 理事会及び常務理事会の開催

・理事会 5回開催 メール審議2回

第1回理事会	2018年5月28日
第2回理事会	2018年5月28日
第3回理事会	2018年9月21日
第4回理事会	2018年12月8日
第5回理事会	2019年3月6日

・常務理事会 6回開催

第1回常務理事会	2018年5月18日
第2回常務理事会	2018年7月20日
第3回常務理事会	2018年9月21日
第4回常務理事会	2018年11月16日
第5回常務理事会	2019年1月18日
第6回常務理事会	2019年3月6日

3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施

4. 学会誌の発行

・学会誌「都市住宅学」を4回発行

2018年度春号(第101号)	2018年4月30日発行
2018年度夏号(第102号)	2018年7月31日発行
2018年度秋号(第103号)	2018年10月31日発行
2018年度冬号(第104号)	2019年1月31日発行

5. 第26回学術講演会の開催

・都市住宅学会第26回学術講演会を次のとおり開催

- (1) 日時: 2018年12月7日、8日、9日
- (2) 場所: 名城大学名古屋ドーム前キャンパス
- (3) 内容: 研究発表(9題)、メインシンポジウム
ワークショップ、見学会

6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

(本部)

・公開市民フォーラム

2018年5月28日 住宅金融支援機構 すまい・るホール
「人口減少は住宅市場と都市をどう変えるのか」

・学生論文コンテスト

(博士論文部門)

2018年5月28日 ステージビルディング会議室
(卒業論文・修士論文部門)

2019年3月18日 ステージビルディング会議室(審査会場)

・交流研究会

ブータン住宅・建築事情調査(関東支部・関西支部共催)

2019年3月20日～3月26日

(東北支部)

・講演会

開催日時

2018年5月26日 14:00 - 17:30

—空家特措法だけで「空間」は「場所」に変わるか—

開催場所

東北大学青葉山キャンパス人間・環境系教育研究棟 101
講義室

主催 都市計画学会東北支部

後援 都市住宅学会東北支部

早坂進氏

(NPO法人つるおかランドバンク理事/鶴岡市)「日本版ラ
ンド・バンク(小規模連鎖型区画再編事業)によるまちの
リノベーション」

小友康広氏(花巻家守舎および上町家守舎代表取締役)「家
守事業が仕掛ける街の再編集」

加納亮介氏(町家体験ゲストハウス管理人/東京工業大学
大学院DC)

「ゲストハウスからはじまるまちの継ぎ方」

・城ボイス2018—次の社会の在り方につなげる試み—

開催日時

2018年9月2日 9:50 - 18:50

開催場所

せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア

主催 一般社団法人日本建築学会

みやぎボイス連絡協議会 他

後援 都市住宅学会東北支部 他

登壇者

米野史健、三浦友幸、平野勝也、室崎益輝、井若和久、
秋田典子、徳水博志、大沼正寛、
鈴木孝男、加藤孝明、津久井進、松山将勝、原田展幸、
手島浩之、阿部元希、佐伯裕武
石塚直樹、真壁さおり、増田聡、平岡善浩、新井信幸 他

(関東支部)

・講演会

2018年4月18日 ステージビルディング会議室

「シェアのための空間設計」

講師：成瀬友梨氏（成瀬・猪熊建築設計事務所）

(中部支部)

・総会講演会

2018年4月21日

講師：西上孔雄氏

テーマ：「泉北ニュータウンにおけるストック活用～多世代交流による地域福祉のコンバージョン」

・若手研究者講演会

2018年7月14日

「郊外住宅団地における多世代居住の可能性と近居実態」

講師：金 由羅氏（中部大学工学部建築学科 助教）

・大会見学会

2018年12月7日

『ニュータウンの新たなステップ「グループふじとう」とニュータウンの活性化の取り組み』

・大会ワークショップ4 中部支部企画

2018年12月9日

「負けない郊外住宅地の育て方」

講師：河崎典夫氏（桜ヶ丘まちづくり協議会）

：豊田洋一氏（中部大学工学部建築学科 教授）

：西上孔雄氏（NPO法人 すまいるセンター代表理事）

：村上貴幸氏（春日井市ニュータウン創生課課長補佐）

(関西支部)

・総会記念フォーラム

「人口減少期の居住地ブランディング」

2018年4月21日 グランフロント大阪ナレッジキャピタルカンファレンスルーム C04

【基調講演】

本当に住んで幸せなまち-街の魅力を測るあたらしい物差し

島原 万丈（LIFULL HOMES 総研所長）

【パネリスト】

島原万丈（全掲）

澤田充（株式会社ケイオス）

矢島悟（オリックス株式会社）

角野 幸博（関西学院大学）

【コーディネーター】

岡 絵里子（関西大学）

・都市住宅セミナー

「建築基準法第86条1項等に基づく一団地認定を受けた住宅団地の再生の現状と見込み」

2018年12月22日

会場：兵庫県民会館 10階 福の間

戎 正晴氏（弁護士、国交省「住宅団地の再生のあり方に関する検討会」委員）

野崎 隆一氏（神戸まちづくり研究所 理事長、急病の為

欠席）

神戸団地再生研究会共催

(中国・四国支部)

・講演会

2018年4月21日 広島工業大学 広島校舎402号室

テーマ：愛媛県における空き家を活用したまちづくり

講師：濱田規史氏

(NPO法人八幡浜元気プロジェクト代表)

(九州支部)

・支部総会記念企画

「福岡県住宅供給公社 小笹団地の現在と団地再生」

2018年4月14日

講師：奥村卓也氏

(福岡県住宅供給公社 建設事業部建設計画課・主任技師)

若藤達也氏（福岡県住宅供給公社 同・参事）

「小笹団地再生における地域貢献～少子・高齢化社会、低炭素社会に向けて」

橋田竜平氏

「小笹団地におけるスターハウスの配置計画と建築的特徴」

・都市住宅学会九州支部優秀学生賞（学生表彰事業）

募集期間：2019年2月15日～2月27日

・「宗像市日の里団地」団地再生見学会

2019年3月6日

講師：内田 忠治氏（宗像市都市建設部都市再生課長）

「宗像市のまちづくり」

小川 和朗氏（UR都市機構九州支社住宅経営部団地マネージャー）

「日の里地区におけるURの取り組みについて」

7. 学術的研究活動の活性化

学際的研究活動をさらに活性化するため、都市住宅研究センターにおける自主研究を実施するとともに、各支部における会員増の促進を図ること等を通じて各支部活動の支援を行った。

8. 関係学会等との連絡等

都市住宅に関する学術的研究の進捗普及を図るため、内外の関係学会等との連絡及び協力を行った。

本年度も「学術交流に関する覚書」を締結した韓国住居学会との交流を継続した。

9. 調査研究の受託について

昨年度に引き続き、都市住宅学関連の諸団体からの調査受託を行い、各調査委員会を設置して調査研究を実施した。

10. 本部及び各支部による委員会等活動

(本部)

・総務企画委員会（5回開催）

第132回 2018年5月18日

第133回 2018年7月20日

第134回 2018年11月16日
第135回 2018年1月18日
第136回 2019年3月6日

・学術委員会（1回開催）
第79回 2018年9月26日

・編集委員会（4回開催）
第131回 2018年6月4日
第132回 2018年9月13日
第133回 2018年12月11日
第134回 2019年2月19日

・学会賞委員会（3回開催）
第78回 2018年4月5日
第79回 2018年6月21日
第80回 2018年9月21日

・業績賞委員会（1回開催）
第26回 2019年1月28日

（東北支部）
・東北支部 常議員会（2回開催）
第1回常議員会 2018年4月6日
第2回常議員会 2018年9月19日

（関東支部）
・関東支部 常議員会（4回開催）
第1回常議員会 2018年6月6日
第2回常議員会 2018年9月20日
第3回常議員会 2018年12月14日
第4回常議員会 2019年2月20日

・見学会 「スクエアJS」
2018年11月7日（水）
説明者；日本中央住宅生活技術開発研究所 牛山美緒他

（中部支部）
・中部支部 常議員会（2回開催）
第1回常議員会 2018年4月21日
第2回常議員会 2019年2月18日

・中部支部 幹事会（3回開催）
第1回幹事会 2018年5月17日
第2回幹事会 2018年6月14日
第3回幹事会 2019年1月28日

・中部支部 大会実行委員会
第1回大会実行委員会 2018年5月17日
第2回大会実行委員会 2018年6月14日
第3回大会実行委員会 2018年7月14日
第4回大会実行委員会 2018年8月27日
第5回大会実行委員会 2018年9月26日
第6回大会実行委員会 2018年11月5日

・住宅市場研究会

（1）郊外住宅地部会

【委員：海道清信（部会長）、河崎典夫、村上心、
鶴田佳子、浦山益郎】

・部会メンバーが取り組んでいる岐阜県可児市の桜ヶ丘ハイ
イツにおける活動を紹介します。桜ヶ丘ハイ・桜ヶ丘内に
太陽光発電施設（敷地 4.8ha、発電量 1.9Mw、パネル
6,600枚）の建設をめぐって、2017年10月以降住民説明
会が数回実施された。しかし決着が付かないので、可児市
市民参画とまちづくり条例に基づき、住民が意見書を提出
した。市があっせんし、事業者と住民（まちづくり協議会）
で10項目の協定書を2018年4月に締結した。協定書に定
められている「事業計画策定ガイドラインの遵守」「（敷地
内にある）湧水湿地群の保全」「施設の撤去、処分・廃棄
物」などの具体化をめぐって、昨年7月に自治連合会の中
に作られた専門委員会と事業者、さらに湿地保全をめぐっ
て学識者や市も加わり、継続的な協議が行われている。

（2）住宅再生部会

【委員：村上心（部会長）、川野紀江（幹事）、
研究者・行政・民間30名程度】
活動なし

（3）公共住宅部会

【委員：松山明（部会長）、山川博幹（幹事）、研究者・
行政・民間20名程度】

5月29日 名古屋市の立地適正化計画について
（安藤修一氏 名古屋市都市計画課 係長）
参加者：13名

6月2日 グルッポふじとう 見学会
（水野真一氏 春日井市ニュータウン創生課長）
参加者：14名

10月17日 UR中部支社における賃貸住宅ストックの概
要と住戸改修に係る取り組み
（北澤広樹氏 UR都市機構中部支社 住宅経営部ス
tock活用計画課長）
参加者：14名

11月14日 既存木造住宅の耐震・省エネ改修の同時施工
によるコストメリットについて
（佐藤一郎氏 愛知県建築指導課 主査）
参加者：13名

（4）住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之（部会長）、小川、小野、大崎、尾崎、
谷村、他4名】

活動なし

（関西支部）

・関西支部 常議員会（6回開催）
第1回常議員会 2018年5月10日
第2回常議員会 2018年7月5日
第3回常議員会 2018年9月10日
第4回常議員会 2018年12月25日
第5回常議員会 2019年2月16日
第6回常議員会 2019年3月26日

〔研究委員会の設置状況〕

2018年度は4つの研究委員会が活動を継続
郊外・すまいと鉄道研究委員会
子育て支援住環境研究委員会

団地における3公連携研究委員会
タワーマンション研究委員会

[郊外・すまいと鉄道研究委員会]

- ・研究会を開催し、2014年～2017年の研究成果をもとに書籍化を検討

「駅から始まる郊外再生」(2016年～2017年度受託調査研究報告会)

日時: 2018年7月10日(火) 16:00～18:10

場所: グランフロント大阪ナレッジキャピタル
カンファレンスルーム

【プログラム】

関西学院大学 総合政策学部 教授 角野 幸博
(全体総括)

関西大学 環境都市工学部 教授 岡 絵理子

武庫川女子大学 生活環境学部 講師 水野 優子

大阪大学大学院 工学研究科 助教 伊丹 康二

関西大学 環境都市工学部 准教授 井ノ口 弘昭

関西学院大学 大学院 博士後期課程 青木 嵩

公益財団法人都市活力研究所 主席研究員 松根 辰一

公益財団法人都市活力研究所と共催参加者 81名

[子育て支援住環境研究委員会]

- ・住宅・施設計画、団地再生・リノベ、子育て路地、住情報・住宅政策の4WGを設けて活動

「子育て家族のための住まい—イギリスの経験に学ぶ—」

日時: 2018年6月6日

場所: 京都府立大学

講師: K. キンテリア (グラスゴー大学 教授)

京都府立大学檜谷研究室と共催

「子育て世帯の住環境を考える～洛西ニュータウンにおける子育ての現場から～」

日時: 2018年11月24日 14:00～16:30

場所: 公社一般賃貸住宅 榎原団地 (京都市西京区)

【視察】

空き住戸、現在入居中の子育て世帯、留学生向けの住戸、コモンスペース

【ミニシンポジウム】

報告「京都市における子育て支援について」

生川慶一郎 (京都市住宅供給公社)

講演「洛西ニュータウンの子育て現場とその支援に係る取り組み」

坂本景依子氏 (マミーズアップ代表)

フリーディスカッション

子育て世帯の住環境を考える～「いえ」と「まち」とそれをつなぐもの～

参加者 25名

[団地における3公連携研究委員会]

「芦屋浜シーサイドタウンにおける見学ツアー・ディスカッション」

日時: 2018年9月20日(木) 12:30～17:30

場所: 芦屋浜センタービル3階大会議室

(芦屋市高浜町7-2)

芦屋浜シーサイドタウン見学ツアー

兵庫県住宅供給公社・県産木材による改修住戸、空中庭園等共用部の見学、地域暖房給湯システム、地区防災監視システム、ケア(介護)拠点併設型コンビニエンスストア、またあした広場3公連携に関するディスカッション

【趣旨説明】

安枝英俊 (兵庫県立大学 環境人間学部 准教授)

【報告】

「芦屋浜シーサイドタウンの計画と経年変化」

高井宏之 (名城大学 理工学部 建築学科)

「団地におけるケアローソンの取り組み」

山口健太郎 (近畿大学 建築学部 教授)

【話題提供】

「芦屋浜高層住宅団地再生プロジェクトについて」

鎌田誠史 (武庫川女子大学 生活造形学科 准教授)

【パネルディスカッション】

コーディネーター: 安枝英俊 (前掲)

パネリスト: 高井宏之 (前掲)、鎌田誠史 (前掲)、

山口健太郎 (前掲)、

塚本貴昭 (独立行政法人都市再生機構 西日本支社)、

神吉竜一 (兵庫県住宅供給公社)

コメンテーター: 角野幸博

(関西学院大学 総合政策学部 教授)、

【進行】

安枝英俊 (前掲)

日本建築学会 住宅計画小委員会、兵庫県住宅供給公社との共催

参加者 45名

[タワーマンション研究委員会]

・「タワーマンション大規模修繕—最初の壁を乗り越えるために—」(公開研究会)

日時: 2019年1月26日(土) 15:00～17:30

場所: 大阪ガス(株)都市魅力研究室・セミナールーム
(グランフロント大阪タワーC 7F)

【開会挨拶】

岡 絵理子 (関西大学環境都市工学部 教授)

【趣旨説明】

森山 秀二 (一級建築士事務所 BA 代表)

【第I部】 登壇者からの現状・実績・課題の紹介

「タワーマンション大規模修繕の概要—大阪市域の修繕積立金を通して—」

白田 利之 (都市住宅研究センター)

「タワーマンション大規模修繕の施工」

鹿島 美克 (株式会社 長谷工リフォーム)

「タワーマンション大規模修繕における給排水設備更新の事例」

新藤 孝 (建装工業株式会社)

「タワーマンション大規模修繕工事のコンサルティング」

岩崎 裕司 (NPO 法人マンション管理組合サポートセンター 代表理事)

【第II部】 パネルディスカッション タワーマンション大規模修繕—最初の壁を乗り越えるために—

パネリスト: 白田 利之、鹿島 美克、新藤 孝、

岩崎 裕司

・見学会

「東大路高野第三住宅のヒアリングおよび見学」

2018 年 11 月 10 日

見学：養正市営住宅：スターハウス、高野第三住宅、高野
第二リノベーション住戸

・第 26 回学術講演会 関西支部ワークショップ

2018 年 12 月 9 日

会場：名城大学

「少子化時代の子育て住環境を考える」

【趣旨説明】

高田 光雄（京都美術工芸大学、京都大学名誉教授）

【基調報告】

定行まり子（日本女子大学）

「少子化時代の子供の住環境」

【子育て支援環境を考える多角的な視点】

団地再生・リノベーションの視点から

土井脩史（京都橘大学）

路地・街中居住の視点から

森重幸子（武庫川女子大学）

住宅政策・郊外居住の視点から

趙賢株（京 安心住まいセンター）

【進 行】

前田 昌弘（京都大学）

（中国・四国支部）

・中国・四国支部 常議員会（4 回開催）

第 1 回常議員会 2018 年 4 月 21 日

第 2 回常議員会 2018 年 7 月 23 日

第 3 回常議員会 2018 年 10 月 22 日

第 4 回常議員会 2019 年 2 月 7 日

・見学会

2018 年 11 月 24 日、25 日

見学先：愛媛県内子町、八幡浜市、松山市の空き家活
用事例

講師：濱田規史氏（NPO 法人八幡浜元気プロジェクト
代表）

山内大輔氏（合同会社アソビ社）

山本康弘氏（NPO 法人 SHARE LIFE DESIGN）

（九州支部）

・九州支部 常議員会（3 回開催）

第 1 回常議員会 2018 年 4 月 14 日

第 2 回常議員会 2018 年 11 月 13 日

第 3 回常議員会 2019 年 3 月 12 日

・常議員通信

第 1 回通信 2018 年 4 月 16 日

第 2 回通信 2018 年 10 月 2 日

第 3 回通信 2018 年 10 月 11 日

第 4 回通信 2019 年 1 月 18 日

第 5 回通信 2019 年 2 月 1 日

第 6 回通信 2019 年 2 月 20 日

第 7 回通信 2019 年 2 月 28 日

第 8 回通信 2019 年 3 月 5 日

第 9 回通信 2019 年 3 月 13 日

第 10 回通信 2019 年 3 月 19 日

・学生表彰委員会（1 回開催）

第 1 回委員会 2019 年 3 月 12 日

事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以 上

都市住宅学会・2018年度貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科目	2018年度	2017年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	148,914	69,113	79,801
普通・郵便預貯金	5,310,362	14,231,322	△ 8,920,960
定期預金	19,116,470	13,116,470	6,000,000
未収金	18,657,043	1,458,000	17,199,043
前払金	0	0	0
立替金	408,815	0	408,815
流動資産合計	43,641,604	28,874,905	14,766,699
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
基本財産合計	30,368,125	30,368,125	0
(2) 特定資産			
定期預金	41,126,259	41,126,259	0
特定資産合計	41,126,259	41,126,259	0
固定資産合計	71,494,384	71,494,384	0
資産合計	115,135,988	100,369,289	14,766,699
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,120,900	8,040,014	9,080,886
前受金	1,342,000	799,630	542,370
預り金	219,798	111,462	108,336
流動負債合計	18,682,698	8,951,106	9,731,592
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	18,682,698	8,951,106	9,731,592
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	96,453,290	91,418,183	5,035,107
(うち基本財産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(41,126,259)	(41,126,259)	(0)
正味財産合計	96,453,290	91,418,183	5,035,107
負債及び正味財産合計	115,135,988	100,369,289	14,766,699

都市住宅学会・2018年度正味財産増減計算書
2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2018年度	2017年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の分			
(1)経常収益			
①基本財産運用収入 基本財産利息収入	2,023	2,023	0
②特定資産運用益(利息収入) 定期預金利息収入	3,940	3,831	109
③受取入会金 入会金収入	56,000	51,000	5,000
④会費収入 正会員・準会員 賛助会員	14,304,630 11,584,630 2,720,000	14,524,000 11,704,000 2,820,000	△ 219,370 △ 119,370 △ 100,000
⑤事業収入 研究受託収入 事務受託収入 支部研究受託収入 支部交付金	25,393,088 24,650,784 742,304 0 0	11,659,700 9,676,800 362,900 1,620,000 0	13,733,388 14,973,984 379,404 △ 1,620,000 0
⑥受取補助金等 補助金等収入 研究成果公開促進費	0 0 0	0 0 0	0 0 0
⑦受取寄付金 指定寄付金 一般寄付金	409,000 409,000 0	0 0 0	409,000 409,000 0
⑧雑収益 受取利息 雑収入	1,385,776 1,547 1,384,229	485,673 3,009 482,664	900,103 △ 1,462 901,565
経常収益計	41,554,457	26,726,227	14,828,230
(2)経常費用			
①事業費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 論文集発行費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 秋季全国大会費 シンポジウム費 研究成果公開促進費 国際交流費 事業費予備費 図書購入費 雑費	27,382,379 4,167,901 10,500 712,491 242,589 805,177 174,797 396,352 297,702 2,561,712 1,238,594 1,508,092 383,180 12,142,630 440,160 700,000 1,074,555 0 200,000 0 0 325,947	20,590,838 3,732,436 167,902 683,381 301,387 1,275,513 220,769 120,821 120,024 2,595,631 1,139,517 2,748,077 171,150 4,485,077 440,160 700,000 1,076,397 0 319,856 0 3,195 289,547	6,791,541 435,465 △ 157,402 29,110 △ 58,798 △ 470,336 △ 45,972 275,531 177,678 △ 33,919 99,077 △ 1,239,985 212,030 7,657,553 0 0 △ 1,842 0 △ 119,856 0 △ 3,195 36,400
②管理費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 総務費 図書購入費 雑費	9,136,971 1,786,244 4,500 305,353 103,966 345,075 74,912 169,866 102,378 530,826 0 164,220 5,203,984 188,640 17,316 0 139,691	5,662,061 1,599,615 71,958 292,878 129,166 546,649 94,616 51,781 78,778 488,364 0 73,350 1,922,176 188,640 0 0 124,091	3,474,910 186,629 △ 67,458 12,475 △ 25,200 △ 201,574 △ 19,704 118,085 23,600 42,462 0 90,870 3,281,808 0 17,316 0 15,600
経常費用計	36,519,350	26,252,899	10,266,451
当期経常増減額	5,035,107	4,373,328	661,779
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,035,107	473,328	4,561,779
一般正味財産期首残高	91,418,183	90,944,855	473,328
一般正味財産期末残高	96,453,290	91,418,183	5,035,107
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	96,453,290	91,418,183	5,035,107

都市住宅学会・2018年度正味財産増減計算書(内訳表)
2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の分				
(1)経常収益				
①基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,023	0	0	2,023
②特定資産運用益(利息収入)				0
定期預金利息収入	0	3,940	0	3,940
③受取入会金	39,200	16,800	0	56,000
入会金収入	39,200	16,800	0	56,000
④会費収入	7,867,547	6,437,083	0	14,304,630
正会員・準会員	6,371,547	5,213,083	0	11,584,630
賛助会員	1,496,000	1,224,000	0	2,720,000
⑤事業収入	17,775,162	7,617,926	0	25,393,088
研究受託収入	17,255,549	7,395,235	0	24,650,784
事務受託収入	519,613	222,691		742,304
支部研究受託収入	0	0		0
支部交付金	0	0	0	0
⑥受取補助金等	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0
⑦受取寄付金	409,000	0	0	409,000
指定寄付金	409,000	0	0	409,000
一般寄付金	0	0	0	0
⑧雑収益	970,043	415,733	0	1,385,776
受取利息	1,083	464	0	1,547
雑収入	968,960	415,269	0	1,384,229
経常収益計	27,062,975	14,491,482	0	41,554,457
(2)経常費用				
①事業費支出	27,382,379	0	0	27,382,379
給与手当	4,167,901	0	0	4,167,901
臨時雇賃金	10,500	0	0	10,500
福利厚生費	712,491	0	0	712,491
会議費	242,589	0	0	242,589
旅費交通費	805,177	0	0	805,177
通信運搬費	174,797	0	0	174,797
消耗品費	396,352	0	0	396,352
印刷製本費	297,702	0	0	297,702
論文集発行費	2,561,712	0	0	2,561,712
賃借料	1,238,594	0	0	1,238,594
諸謝金	1,508,092	0	0	1,508,092
租税公課	383,180	0	0	383,180
研究委託費	12,142,630	0	0	12,142,630
事務委託費	440,160	0	0	440,160
秋季全国大会費	700,000	0	0	700,000
シンポジウム費	1,074,555	0	0	1,074,555
研究成果公開促進費	0	0	0	0
国際交流費	200,000	0	0	200,000
事業費予備費	0	0	0	0
図書購入費	0	0	0	0
雑費	325,947	0	0	325,947
②管理費支出	0	9,136,971	0	9,136,971
給与手当	0	1,786,244	0	1,786,244
臨時雇賃金	0	4,500	0	4,500
福利厚生費	0	305,353	0	305,353
会議費	0	103,966	0	103,966
旅費交通費	0	345,075	0	345,075
通信運搬費	0	74,912	0	74,912
消耗品費	0	169,866	0	169,866
印刷製本費	0	102,378	0	102,378
賃借料	0	530,826	0	530,826
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	164,220	0	164,220
研究委託費		5,203,984		5,203,984
事務委託費		188,640		188,640
総務費		17,316		17,316
図書購入費		0		0
雑費		139,691		139,691
経常費用計	27,382,379	9,136,971	0	36,519,350
当期経常増減額	△ 319,404	5,354,511	0	5,035,107
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 319,404	5,354,511	0	5,035,107
一般正味財産期首残高	43,406,904	48,011,279	0	91,418,183
一般正味財産期末残高	43,087,500	53,365,790	0	96,453,290
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	43,087,500	53,365,790	0	96,453,290

都市住宅学会・財務諸表に対する注記

2019年3月31日現在

公益社団法人都市住宅学会

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表において、単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しません。

2. 重要な会計方針

平成20年度基準を採用しております。

(1)消費税等の会計処理

税込み方式

(2)支部運転資金の流動資産化

2013年度の公益社団法人移行に伴い、従来、特定資産としていた支部の運転資金を流動資産に移行したため、前期繰越収支差額(流動資産の期首残高)に計上済み。

3. 会計方針の変更

2013年度決算から平成20年度会計基準を採用しました。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,368,125	0	0	30,368,125
小計	30,368,125	0	0	30,368,125
特定資産				
運営基金	41,126,259	0	0	41,126,259
小計	40,126,259	0	0	41,126,259
合計	70,494,384	0	0	71,494,384

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,368,125	(0)	(30,368,125)	(0)
小計	30,368,125	0	30,368,125	0
特定資産				
運営基金	41,126,259	(0)	(41,126,259)	(0)
小計	41,126,259	0	(41,126,259)	(0)
合計	71,494,384	0	(71,494,384)	0

6. 担保に供している資産

ありません。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	18,657,043	0	18,657,043
立替金	408,815	0	408,815
合計	19,065,858	0	19,065,858

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当ありません。

9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

10. 関連当事者との取引内容

ありません。

11. 重要な後発事象

ありません。

都市住宅学会・附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

2. 引当金の明細

該当ありません。

財 産 目 録
2019年3月31日現在

科 目	内 訳		合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			(24, 575, 746)
現金			148, 914
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局（振替）	運転資金として	264, 178
	千代田区飯田橋郵便局（普通）	運転資金として	60, 688
普通預金	三菱東京ＵＦＪ銀行麹町支店	運転資金として	1, 626, 357
	みずほ銀行麹町支店	運転資金として	167, 455
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として	797, 929
	三菱ＵＦＪ信託銀行本店	運転資金として	11, 797
	七十七銀行本店営業部	運転資金として	100, 632
	三菱東京ＵＦＪ銀行栄町支店	運転資金として	596, 916
	りそな銀行北浜支店	運転資金として	333, 630
	広島銀行五日市支店	運転資金として	911, 635
	西日本シティ銀行箱崎支店	運転資金として	439, 145
定期預金	千代田区飯田橋郵便局（定期）	運転資金として	100, 000
	三菱東京ＵＦＪ銀行麹町支店	運転資金として	16, 000, 000
	三菱東京ＵＦＪ銀行麹町支店	運転資金として	3, 016, 470
未収金			(18, 657, 043)
未収金		日本政策投資銀行業務委託費用未収金	18, 657, 043
前払金			0
立替金			408, 815
仮払金			0
流動資産合計			43, 641, 604
2 固定資産			
基本財産			(30, 368, 125)
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 105, 542
	三井住友銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 137, 865
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 124, 718
特定資産			(41, 126, 259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	公益目的事業に必要なその他の業務の用に供する財産であり運用益を管理費の財源として使用	41, 126, 259
固定資産合計			71, 494, 384
資産合計			115, 135, 988
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			(17, 120, 900)
	その他事業費	独立行政法人都市再生機構再委託費（ちば地域再生リサーチ）	1, 600, 000
	その他事業費	独立行政法人都市再生機構再委託費（社会空間研究所）	1, 303, 040
	その他事業費	自主研究委託費（社会空間研究所）	2, 699, 313
	その他事業費	未払い謝金	160, 000
	その他事業費	日本通運 3月分保管料	18, 662
	その他事業費	3月分事務職員給与	694, 323
	その他事業費	ヤマト運輸3月分	8, 155
	その他事業費	ファーストサーバ使用料 3月分	2, 700
	その他事業費	交通費	188, 752
	その他事業費	日本政策投資銀行 謝金	6, 600, 000
	その他事業費	アスクル コピー用紙	33, 947
	その他事業費	科研費間接経費分 アマゾン	27, 680
	その他事業費	日本政策投資銀行委託事業再委託（社会空間研究所）	3, 240, 000
	その他事業費	消費税	522, 900
	その他事業費	関東支部 機関誌104号/交流会報告原稿料	20, 000
	その他事業費	関東支部 大会WS謝金源泉税	1, 428
前受金	2019年度年会費・2020年度年会費		1, 342, 000
預り金			(219, 798)
	国際交流費	ブータンキャンセル料	44, 610
	源泉所得税等	報酬税および職員の所得税・社会保険料	175, 188
流動負債合計			18, 682, 698
負債合計			18, 682, 698
正味財産			96, 453, 290

都市住宅学会事務局

差出人: Munetomo Ando <[REDACTED]>
送信日時: 2019年4月25日木曜日 0:30
宛先: 都市住宅学会事務局
件名: Re:【重要：至急確認お願い】都市住宅学会 2018年度事業報告および決算案 監査のお願い (4月25日16時まで)

都市住宅学会事務局御中

お世話になっております。
日本大学の安藤至大でございます。

監事として監査を行いました。
以下の通り報告します。

監 査 報 告 書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2019 年 4 月 25 日

監 事 (安藤至大)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018事業年度の事業及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。
また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

2. 1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な
事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

2. 2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増

減)の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

安藤至大



> 2019/04/24 12:00、都市住宅学会事務局 <t-info@uhs.gr.jp>のメール:
>
> (公社)都市住宅学会
> 監事
> 安藤 至大 先生
>
> お世話になっております。都市住宅学会事務局です。
> 2018 年度事業報告案および収支決算案について監査をお願い申し上げます。
>
> 添付の 2018 年度事業報告案および 2018 年度収支決算案についてご確認の上、
> もし内容について問題がない場合にはこのメールを引用の上、
> 下記様式を本文に貼り付け、氏名・日付をご記入いただいて
> 本メールへの返信によって、4 月 25 日 16 時必着にてご提出をお願い申し上げます。
>
> 別添資料
> 1: 2018 年度事業報告案および 2018 年度収支決算案
> 2: 2018 年度収支決算案 (参考資料_支部別)
> 3: 2018 年度総勘定元帳
> 4: 普通預金通帳写し
> 5: 2018 年度末残高証明書
> 6: 委託業務報告書
> 下記よりダウンロードをお願い致します。
> <http://dtbn.jp/5kfzqXl>
>
>
> 添付資料 3~5 は決算資料ご確認のための参考資料です。
> 添付資料 6 は 2018 年度受託業務に関する報告書で、決算資料ご確認のための参考資料
> です。
>
>
> (監査報告書: 下記にご記名いただき、ご返信をお願い申し上げます。)
>
> *****
>
>
>
> 監 査 報 告 書
>
>
> 公益社団法人都市住宅学会
> 会長 ◆毗鉾◆雄 殿
>
>
> 2019 年 月 日 (←日付記入お

都市住宅学会事務局

差出人: Toru Ishikawa <[REDACTED]>
送信日時: 2019年4月24日水曜日 14:05
宛先: 都市住宅学会事務局
件名: Re: 【重要：至急確認お願い】都市住宅学会 2018年度事業報告および決算案 監査のお願い (4月25日16時まで)

都市住宅学会事務局 御中
以下の通り回答いたします。
よろしくお願いいたします。
石川 徹

監査報告書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2019年 4月24日
監事 (石川 徹)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2018年4月1日から
2019年3月31日までの2018事業年度の事業及び会計に
ついて監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。

また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

2.1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

2.2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

2019年4月24日(水) 12:00 都市住宅学会事務局 <t-info@uhs.gr.jp>:

> (公社)都市住宅学会

> 監事

> 石川 徹 先生

>

> お世話になっております。都市住宅学会事務局です。

> 2018年度事業報告案および収支決算案について監査をお願い